

平成 29 年 6 月 30 日

各位

丸果札幌青果株式会社
代表取締役社長 勇崎 恒宏

札幌ホクレン青果株式会社
代表取締役社長 高橋 守

経営統合に関する協議開始のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、札幌市中央卸売市場青果部卸売業者であります丸果札幌青果株式会社と札幌ホクレン青果株式会社は、平成 30 年 4 月 1 日を目途に、相互信頼と対等の精神に則って、経営統合に向け協議を開始することに合意致しましたのでお知らせいたします。

敬具

記

1.経営統合の目的

近年、青果卸売業を取り巻く経営環境は大きく変化しております。人口減少に伴う野菜・果物の消費量の減少と消費者ニーズの多様化、農業就業人口の減少、更には市場外流通の拡大等により、青果卸売市場全体の役割・期待に変化が起きております。

かかる環境変化を踏まえ、青果卸売業者として実需者や消費者の期待に応えていくために、経営・財務基盤の強化、業務の効率化、新たな事業領域開拓等は、喫緊の課題と認識しております。

両社は、これらの経営課題に取り組みつつ、両社が拠点とする札幌市中央卸売市場を、川上・川下双方から「選ばれる」市場として活性化していくために、双方の経営資源とノウハウを結集することがベストの選択肢であると判断し、経営統合に向けて本格的な協議・検討を進めていくことと致しました。

2.経営統合の基本方針

本経営統合により、我々が目指す姿は以下のとおりです。

- (1) 安定した青果物流通のため、生産地との連携を強化することで集荷力の向上を図り、新鮮で安全・安心な青果物を札幌市民・北海道民へ提供します。
- (2) 仲卸業者や小売業者も含めた実需者ニーズに対応すべく、生産地との連携を強化し、生産者と消費者を結ぶコーディネート機能を拡充いたします。
- (3) 全国に向けて北海道産青果物の魅力を発信し、ブランド価値向上や商品開発等を支援することにより、道内生産者の経営安定化に貢献します。
- (4) 青果物卸売事業をコア事業として、物流機能の強化や加工調整等の機能充実を図ることと、食品流通業界の中で更なる成長を目指していきます。
- (5) 経営規模の拡大による経営体質の強化を図るとともに、業務の効率化や人材育成による生産性の向上に取り組んでいきます。
- (6) 従業員にとって働き甲斐のある組織の構築と働きやすい職場づくりの推進に取り組んでいきます。

3.経営統合の方法

経営統合の形態につきましては、今後両社の協議を踏まえて決定いたします。

4.経営統合の推進体制

両社は、速やかに統合準備委員会を設置して、経営統合遂行のために必要な協議を行います。

5.今後のスケジュール

平成 30 年 4 月 1 日 (予定) 本経営統合の効力発生 (新体制の発足)

(本件に関するお問い合わせ先)

丸果札幌青果株式会社 総務部 谷口正人 TEL:011-641-3163

札幌ホクレン青果株式会社 総務経理部 浅野博文 TEL:011-643-3212

(ご参考)当事会社の概要

	丸果札幌青果株式会社	札幌ホクレン青果株式会社
本店所在地	札幌市中央区北 12 条西 20 丁目 2 番 2 号	札幌市中央区北 12 条西 20 丁目 2 番 2 号
代表者	代表取締役社長 勇崎 恒宏	代表取締役社長 高橋 守
資本金	1 億 8 千万円	2 億 8 千万円
事業内容	青果物卸売業	青果物卸売業
設立年月日	昭和 34 年 11 月	昭和 51 年 1 月
発行済株式数	180,000 株	280,000 株
決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
取扱高(税込) (平成 28 年度)	40,525 百万円	27,936 百万円
従業員数 (正社員) (平成 29 年 3 月 31 日時点)	104 人	55 人
関連会社	丸果札幌定温倉庫株式会社 樽一小樽中央青果株式会社 株式会社札幌フルーツ	北海道青果サービス株式会社